

令和7年 墨田区観光統計調査(概要)

1. 分析の概要と方法

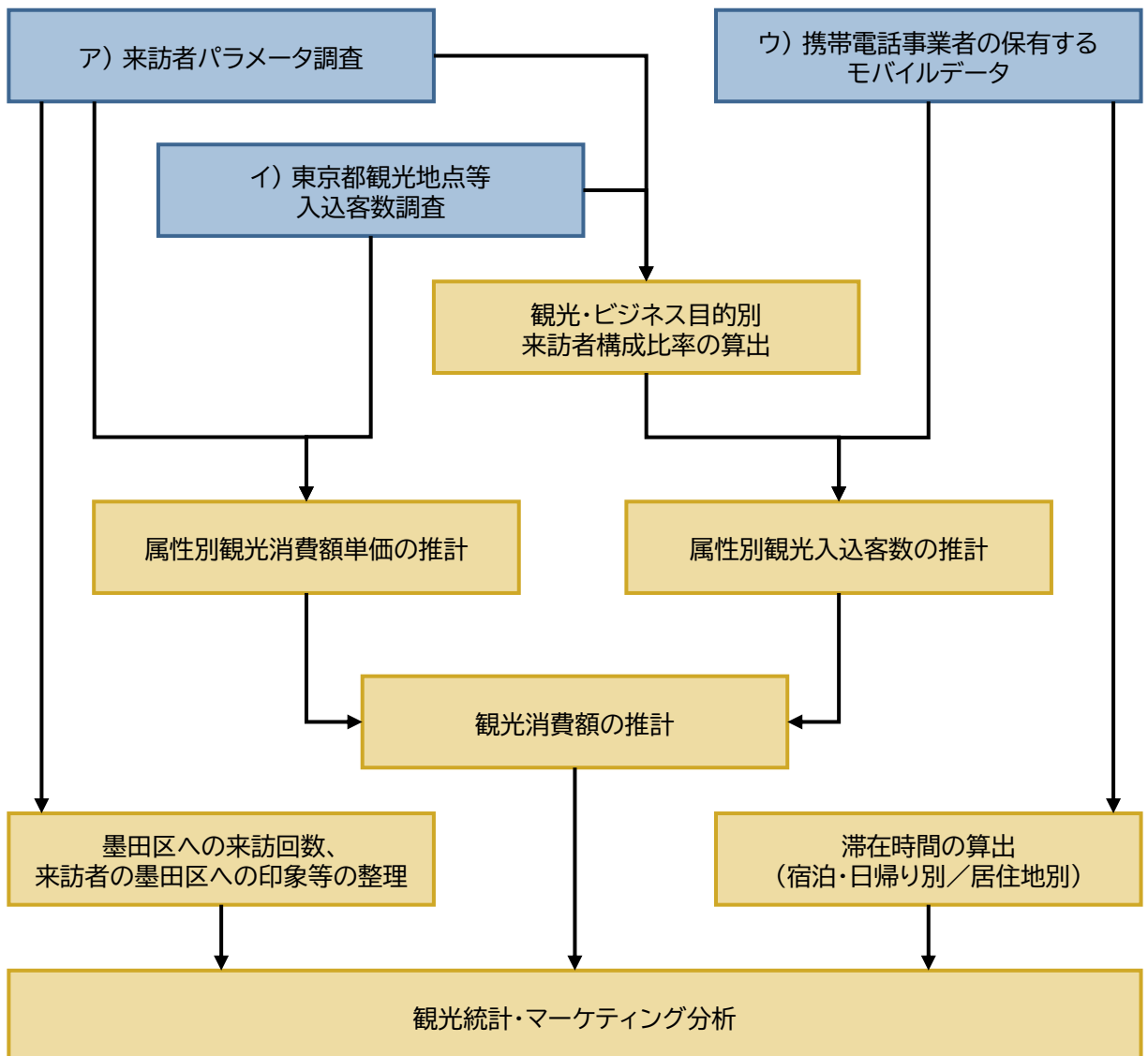
(1)概要

本調査は、原則として令和7年1月～12月における墨田区の年間観光客数、観光消費額等の推計及び来訪者のマーケティング分析を行い、観光施策を立案する基礎資料とするものである。

(2)方法

観光客数、観光消費額については、観光庁の「観光入込客統計に関する共通基準及び調査要領」に基づき、来訪者パラメータ調査(墨田区来訪者へのアンケート調査)及び各種統計データを用い推計を行った。また、墨田区来訪者へのアンケート調査結果をもとに、マーケティング分析を行った。

① 調査フロー



■ 調査・データ部分 ■ 推計・分析部分

② 調査内容

ア) 来訪者パラメータ調査

観光客数及び観光消費額の推計に使用するパラメータの取得を目的として、墨田区への来訪者に対しアンケート調査を実施した。

【調査項目】

来訪者属性(居住地、性別、年齢)、来訪目的、同行者、来訪回数、利用交通機関、観光消費額、満足度、印象、再来訪意向等

【調査実施時期・回数】

令和7年第2四半期～第4四半期、計3回実施

【調査地点】

- ・ 押上地区(東京ソラマチ®)
- ・ 錦糸町地区(錦糸町駅前)
- ・ 両国地区(両国観光案内所付近・すみだ北斎美術館)

【サンプル回収数】

総数:2,769件(国内在住者:1,869件 海外在住者:900件)

イ) 観光地点等入込客数調査

東京都が実施した観光地点等入込客数調査のうち、墨田区内における結果の提供を受け、属性(宿泊・日帰り、居住地、観光目的・ビジネス目的)の構成比及び属性別の消費額単価の算出に使用した。また、ア)調査の地点別サンプルサイズとイ)調査の入込客数の整合を図るための拡大係数の算出にも使用した。

ウ) 携帯電話事業者の保有するモバイルデータ

携帯電話事業者の保有する人流データを取得し、墨田区への移動人口及び滞在人口を把握することにより、居住地(都内・都外・海外)別、宿泊・日帰り別の観光客数を推計した。また、同データから、観光客の墨田区内での滞在時間を算出した。

2. 墨田区の観光客数

令和7年の墨田区の観光客数(実人数)は1,706.7万人と推計された。

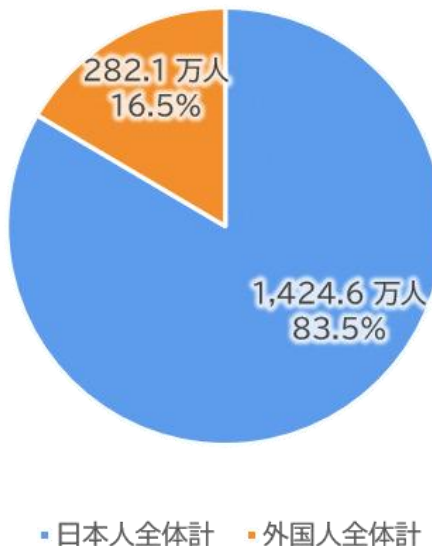
日帰り／宿泊別に見ると、日帰り客数では1,482.3万人、宿泊客数では224.5万人となっている。
また、日本人／外国人別に見ると、日本人の観光客数は1,424.6万人、外国人の観光客数は282.1万人であり、外国人が16.5%を占めている。

図表1 年間観光客数(実人数)の推計

		令和7年
年間観光客数(実人数)		1,706.7 万人
	全体計	1,706.7 万人
	日本人全体計	1,424.6 万人
	外国人全体計	282.1 万人
	日帰り客数計	1,482.3 万人
	日本人日帰り客数計	1,282.8 万人
	外国人日帰り客数計	199.5 万人
	宿泊客数計	224.5 万人
	日本人宿泊客数計	141.8 万人
	外国人宿泊客数計	82.6 万人

※ 数字の単位未満は端数処理をしているため、表中の数字と合計が一致しない場合がある。(以下同様)

図表2 年間観光客数(実人数)における日本人／外国人別割合



3. 墨田区の観光消費額

令和7年の墨田区の観光消費額は2,267億円、1人当たりの観光消費額は13,281円と推計された。

観光消費額単価を居住地別に見ると、都内在住者の日帰り客(観光目的)5,857円に対し、都外在住者では7,554円、海外在住者では13,255円と、居住地が遠方になるほど来訪者の観光消費額単価が上がる傾向にある。

宿泊客(観光目的)についても同様の傾向にあり、都内在住者の14,654円に対し、都外在住者では24,866円、海外在住者では95,149円と高くなっている。

図表3 年間観光消費額の推計

	令和7年
観光消費額	2,267 億円
1人当たりの消費額	13,281 円

図表4 属性別の観光消費額単価

区分	日帰り客		宿泊客	
	観光目的	ビジネス目的	観光目的	ビジネス目的
都内在住者	5,857 円	2,341 円	14,654 円*	60,000 円*
都外在住者	7,554 円	5,643 円*	24,866 円*	39,315 円
海外在住者	13,255 円	8,022 円*	95,149 円	19,008 円

※ 一部属性(*)については、データ取得元の来訪者パラメータ調査にて、サンプルサイズが十分に確保できていないため注意されたい。

図表5 属性別の観光消費額計

(百万円)

区分	日帰り客		宿泊客		計
	観光目的	ビジネス目的	観光目的	ビジネス目的	
都内在住者	22,158	249	3,854	89	26,350
都外在住者	66,357	868	27,866	1,304	96,395
海外在住者	26,127	188	77,360	253	103,928
計	114,642	1,306	109,079	1,646	226,673
	115,947		110,726		

(百万円)

4. 墨田区内の滞在時間・墨田区内の宿泊日数

日帰り客の墨田区内の平均滞在時間について、都内在住者は4.02時間、都外在住者は3.9時間、海外在住者は3.26時間となっている。いずれの居住地区分においても、2～4時間の滞在が最も多い。特に海外在住者では6時間以内の滞在が9割を占めており、都内在住者・都外在住者と比較して滞在時間が短い傾向にある。

宿泊数については、都内在住者は1.08泊、都外在住者は1.29泊、海外在住者は3.58泊となっている。宿泊日数別割合においては、都内在住者と都外在住者の95%近くが1～2泊であるが、海外在住者は63.8%が3泊以上の宿泊となっている。

図表6 墨田区内平均滞在時間・平均宿泊日数

区分	全体	都内在住者	都外在住者	海外在住者
日帰り客	3.85 時間	4.02 時間	3.90 時間	3.26 時間
宿泊客		1.08 泊	1.29 泊	3.58 泊

図表7 日帰り客の滞在時間別割合

区分	都内在住者	都外在住者	海外在住者
2～4時間	51.4%	54.5%	68.8%
4～6時間	27.8%	26.1%	21.3%
6～8時間	12.1%	11.1%	6.3%
8時間以上	8.7%	8.3%	3.5%

※ 全日客(日帰り客+宿泊客)データから滞在時間11時間以上のサンプルを除外して集計している。
そのため、宿泊客が一部含まれている可能性がある。

図表8 宿泊客の宿泊日数別割合

区分	都内在住者	都外在住者	海外在住者
1泊	93.2%	78.7%	16.5%
2泊	5.6%	15.8%	19.7%
3泊	0.9%	4.1%	20.3%
4泊	0.3%	1.1%	16.9%
5～7泊	0.0%	0.4%	21.3%
8泊以上	0.0%	0.0%	5.3%

5. 墨田区内・墨田区内各地区への来訪回数

墨田区への来訪について「初めて」と答えた人は、都内在住者が3.7%、都外在住者が17.5%、海外在住者が78.2%であった。他方、4回目以上の来訪の割合は、都内在住者が69.7%、都外在住者が49.8%、海外在住者が4.2%となっている。

調査地区への来訪回数では、両国地区において「初めて」の割合が高くなっており、海外在住者では90.7%、都外在住者でも半数近くが初めての来訪となっている。また、錦糸町地区においても海外在住者の「初めて」の割合が86.7%と高くなっているが、一方で都内在住者は2.0%、都外在住者は13.0%と低い。

図表9 墨田区への来訪回数

区分	内訳		
	都内在住者	都外在住者	海外在住者
初めて	3.7%	17.5%	78.2%
2回目	4.3%	15.9%	13.8%
3回目	5.1%	16.8%	3.8%
4回目以上	69.7%	49.8%	4.2%

※墨田区在住(17.2%)

図表10 押上地区への来訪回数

区分	内訳		
	都内在住者	都外在住者	海外在住者
初めて	12.3%	27.0%	76.8%
2回目	10.8%	21.1%	16.3%
3回目	15.4%	18.9%	3.2%
4回目以上	61.5%	33.0%	3.7%

図表11 錦糸町地区への来訪回数

区分	内訳		
	都内在住者	都外在住者	海外在住者
初めて	2.0%	13.0%	86.7%
2回目	4.1%	22.2%	5.1%
3回目	3.9%	15.7%	3.1%
4回目以上	90.0%	49.2%	5.1%

図表12 両国地区への来訪回数

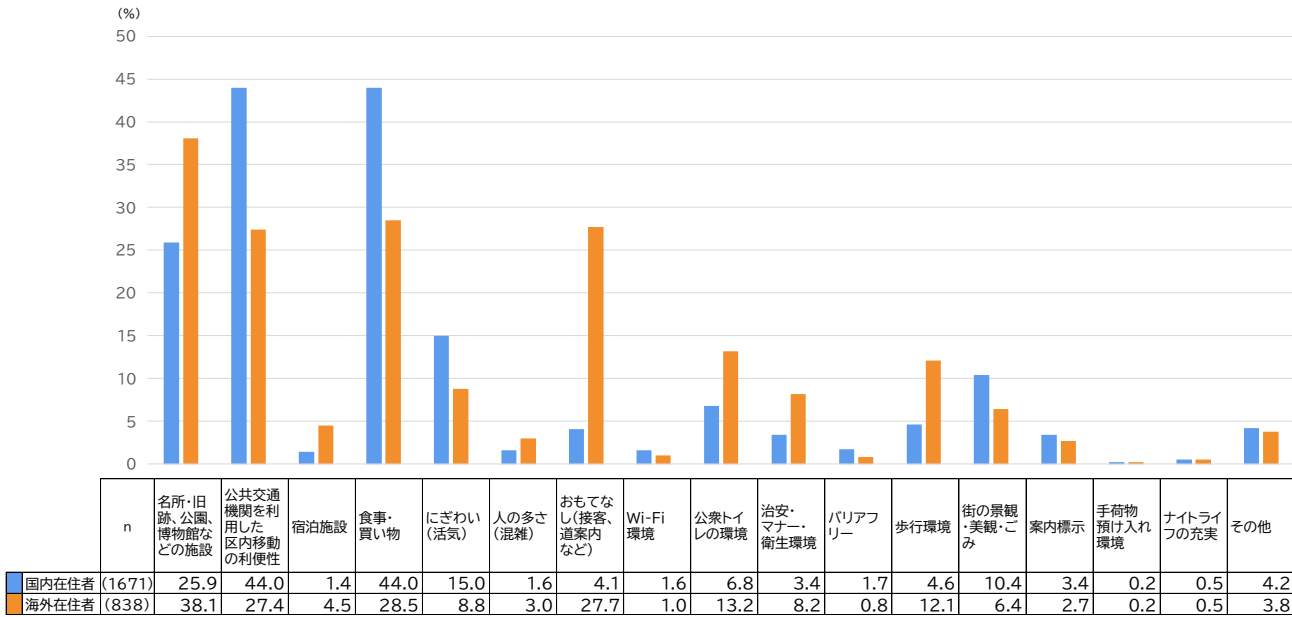
区分	内訳		
	都内在住者	都外在住者	海外在住者
初めて	33.5%	48.6%	90.7%
2回目	7.9%	16.8%	5.2%
3回目	3.7%	7.1%	1.6%
4回目以上	54.9%	27.6%	2.5%

6. 来訪者の墨田区の印象

来訪者の墨田区の印象として良かったことについて、国内在住者では、「公共交通機関を利用した区内移動の利便性」と「食事・買い物」がともに44.0%で最も高く、次いで「名所・旧跡、博物館・美術館」が25.9%、「にぎわい(活気)」が15.0%と続いている。海外在住者では、「名所・旧跡、博物館・美術館」が38.1%と最も高く、次いで「食事・買い物」が28.5%、「おもてなし(接客、道案内など)」が27.7%と続いている。

一方、残念だったことについては、国内在住者では、「治安・マナー・衛生環境」が29.4%と最も高く、次いで「人の多さ(混雑)」が19.0%、「街の景観・美観・ごみ」が16.8%と続いている。海外在住者では、「人の多さ(混雑)」が35.3%と最も高く、次いで「街の景観・美観・ごみ」が11.5%、「Wi-Fi環境」が9.6%と続いており、国内在住者と海外在住者のいずれにおいても環境面に関する課題が指摘される傾向がみられる。

図表13 良かったこと(国内在住者／海外在住者) <複数回答>



図表14 残念だったこと(国内在住者／海外在住者) <複数回答>

